

「徳地アドベンチャー教育プログラム」指導者講習会

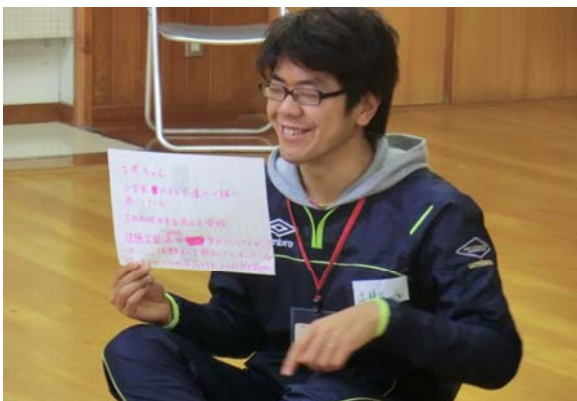
- この事業は、体験学習法を生かした「徳地アドベンチャー教育プログラム」の普及並びに指導者育成を図るために実施している。本プログラムのねらいや方法をプログラムの体験と講義を通して理解することやさらに本所の専用施設の効果的な使い方や安全な使い方や注意事項を学ぶことにより、実践者として必要な知識やスキルの習得をめざすものである。
- 平成24年11月23日(金・祝)～25日(日)の2泊3日の日程で実施し、青少年食育施設職員、大学生、学校教員等16名が参加した。
- 「徳地アドベンチャー教育プログラム」の意義や効果、さらには方法・内容について体験を通して学んでいただくことを目的として以下の2コースに分かれて開催した。
 - ベーシックコース(指導者としての基本的事項に重点を置いたコース)
 - アドバンスドコース(ベーシックコース受講者を対象にステップアップに重点を置いたコース)
- 今回の講師として、(株)プロジェクトアドベンチャージャパンより、2名のトレーナーを派遣していただき、最新のPAの知識、スキルなどを参加者に提供した。

ベーシックコースの様子



ベーシックコースでは、グループでの体験を通して、ローエレメントの使い方や、安全面で気をつけることなどを理解した。また、TAPを行う時に大切にする理念(フルバリューコントラクト、チャレンジバイチョイス)や、コンフォートゾーンから一歩前に踏み出してみたときに学びが大きいことなどを小講義や体験から学ぶことができた。

アドバンスドコースの様子



アドバンスドコースでは、参加者同士で講習会への参加の目的を共有することから始まり、活動を仕組む際に目標の立て方やグループを見る視点などを意識しながらのシーケンスの作成をした。
シーケンスを立てる際、ついつい活動ありきになってしまい、その目的や目標に応じたものになっているかなど参加者どうしていろいろな気づきが得られた。
また、アクティビティの中で、参加者それぞれがお互いを本当に尊重できているのか、チャレンジバイチョイスの考え方ができているのかなど視野を広げて考える大切さについて、学ぶことができた。



【参加者の感想より】

エレメントやPAの手法、考え方をしっかり学ぶことができた。
多くのコミュニケーションをとり、たくさん意見を聞くことができた。
多くのエレメントを使ったアクティビティを体験し、注意点や介入の仕方、課題設定など体験しながら学ぶことができた。
アクティビティだけでなく、「プロセスを見る」ことなども意識したい。
指導者と参加者の双方にとっても良い経験ができるものだと思う。

今回の事業の満足度: 100%

この2泊3日の研修を終了した方々は、今後、本所でTAPの指導を行うことができます。ベーシックコースでは、TAPを体験するだけでなく、どのように指導すればよいか、基本的なことを参加者の方々には学んでいただけました。また、アドバンスドコースでは、目的に応じてシーケンスを組み立てることを学んでいただきました。この研修は、TAPの実践者としての第1歩。自分のフィールドでその考え方を生かして行ってもらえたいと思います。